

陳 情 文 書 表

(令和6年3月18日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>陳情第72号(6.3.11) 子供たちのために王子プールを残すことを求める陳情</p>
<p>陳情の要旨</p>	<p>1. 多くの市民の声を聴き、子供たちにとって貴重な王子プールを再整備し、残すこと。 多くの市民と共通認識を得るために、 ①王子公園周辺に住む、多くの子供たち・親御さんたちから、直接意見を聴く機会を設け、大方の人々の思い・要望を把握すること。 ②王子公園周辺に存在する、養育、保育、教育に携わる施設(民間、公的)を訪問し、プールを利用する目的、利用頻度(1か月に約…回)、利用効果、子供たちの感想などを具体的に把握すること。 ③再整備計画の工程に沿う進行を当分の間中断すること。 ④③における中断期間中のプール開放時期に、私たち市民と共に、平日・休日に数回はプールを訪れ、利用の状況を観察、また利用者の声を聴き実情を把握すること。</p> <p>2. 王子公園・市民ミーティング実行委員会が提起した市民ビジョンを参考に再検討し、王子プールを残すこと。 ①王子プールが、多くの子供連れ家族や小中高生たちの心と体、人と人とを繋ぐ非常に価値ある“オアシス”だと理解して頂き、市民ビジョン他、多様なアイデアを生かして、プール存続を再検討すること。 ②プール解体の影響で、年間利用者約3万人の幸福価値を、雲散霧消させぬよう再検討すること。</p>
<p>陳情者の住所及び氏名</p>	<p>神戸市灘区 大倉均</p>
<p>送付委員会</p>	<p>経済港湾委員会</p>

神戸市議会議長 様

陳情者

神戸市灘区

大倉 均

子供たちのために王子プールを残すことを求める陳情**【陳情趣旨】**

様々な原因で1年間に約500人の子どもが自殺、約20万件的児童虐待、約70万件的小中高生のいじめ件数が報告されています。この状況を、私たちは深刻に受け止め早急に課題解決に取り組まなければなりません。

A. 家族・仲間・地域の人との交わりの場として・王子プール

単親家族、核家族、スマホ依存社会、地域コミュニティが希薄化し、人との触れ合い機会が減少する中で、王子プールでは、家族や子供同士が浮き輪やビーチボールで水しぶきを上げ、見知らぬ人同士がボールを投げ返し合い、50mプールでは中高生たちが大人に混じって泳ぎ、笑顔が溢れ、自然と会話がはずむ親睦が生まれています。多くの子供たちが人間関係を紡ぐ場として、王子プールは重要な役割を果たしています。

B. スポーツ・健康づくりの場として・王子プール

神戸市は、「スポーツ推進計画」を立て、基本的な考え方・ビジョンとして「子供や若者が楽しめるスポーツ環境の整備」「幼児・子供のスポーツ環境・機会の充実」「すべての市民が日常的にスポーツ・健康づくりを目指す」としています。例年王子プールでは子供たちや大人が「水馴れ・水遊び・水泳・競泳練習」と多様な形で利用しています。連日500~1000人超、年間延べ約3万人も楽しんでいます。一方、市内小学校のプール開放が無くなり不便になり、部活動練習や仲間同士で来ている中高生は「交通が便利で料金も安く王子プールは最高。」と言います、真に王子プールは幼児から高齢者まで必要な施設です。

王子周辺市民が、「ボーアイプール」を利用する場合、入場料は大人650円・小人300円で「王子」の約2倍。電車利用で「ボーアイ」へ大人は(170円+250円)往復で840円、小人は往復で440円と費用が高みます。結果「ボーアイプール」を1回利用すると、大人1490円、小人740円かかり「王子」の約4~5倍になります。

C. 子供たち・若い家族を魅了する・王子プール

近年「地球沸騰化」とも言われ、5月から9月迄の長期間、30度を超える日々も多く、特に暑い夏季には「水」が心身をリフレッシュしてくれます。泳げる川や海が少ない街中だからこそ貴重なプールで、敢えて転居して来たり、帰省してきた方々や北区や長田区の遠方からもやって来たりするほど子供連れ家族に人気のプールです。

王子スポーツセンターの昨夏アンケートでも、多数がプール「満足」で、「プール存続」を求めています。

【陳情項目】**1. 多くの市民の声を聴き、子供たちにとって貴重な王子プールを再整備し、残すこと**

多くの市民と「共通認識」を得るために、

- ① 王子公園周辺に住む、多くの子供たち・親御さんたちから、直接意見を聴く機会を設け、大方の人々の想い・要望を把握すること。
- ② 王子公園周辺に存在する、養育、保育、教育に携わる施設(民間、公的)を訪問し、「プールを利用する目的」「利用頻度(1か月に約…回)」「利用効果」「子供たちの感想」などを具体的に把握すること
- ③ 「再整備計画」工程に沿う進行を当分の間中断すること
- ④ ③その中断期間中のプール開放時期に、私たち市民と共に、平日・休日に数回はプールを訪れ、利用の状況を観察、また利用者の声を聴き実情を把握すること。

2. 王子公園・市民ミーティング実行委員会が提起「市民ビジョン」を参考に再検討し、王子プールを残すこと

- ① 王子プールが、多くの子供連れ家族や小中高生たちの心と体、人と人とを繋ぐ非常に価値ある「オアシス」として理解して頂き、「市民ビジョン」他、多様なアイデアを生かして、プール存続を再検討すること
- ② プール解体の影響で、年間利用者約3万人の「幸福」価値を、雲散霧消させぬよう再検討すること